

Profile

林 直樹(クラリネット)

武蔵野音楽大学、同大学院修了。故千葉国夫、村井祐児、横川晴児、山本正治の各氏に師事。また国内のセミナーに於いてギィ・ドゥプリュ、ラリー・コムス、ライナー・ミューラー・ヴァン・レクムの各氏に師事。広島交響楽団、九州交響楽団、新星日本交響楽団を経て現在東京フィルハーモニー交響楽団奏者。

なにわオーケストラウインズ、OTTO アンサンブルメンバー。

1984年NHK 洋楽オーディションに合格、NHK-FM「午後のリサイタル」「NHK フレッシュコンサート」等に出演。1985年東京ゾリスデンとモーツァルトのクラリネット協奏曲、1991年九州交響楽団とウェーバーのクラリネット協奏曲を共演。またB. クランポン社主催「欧日音楽講座」にて「奨励賞」受賞。現在オーケストラを中心にソロ、室内楽でも活躍。武蔵野音楽大学講師。白鷺在住。

蛭海 たづ子(ヴィオラ)

東京音楽大学器楽科卒業。ヴィオラを兎塚俊之、田中あや、の各氏に師事。ピアノを森礼子、室内楽を田中千香士、堀了介の各氏に師事。在学中、オーケストラアンサンブル金沢のヨーロッパ公演に同行。ユーロパリアジャパン'89にてベルギー ブリュッセルで公演。1992年、1993年草津音楽祭に参加し、セルジュ・コロエ氏の指導を受ける。2012年アフィニス音楽祭に参加。四方恭子、イェルク・リノヴィツキらと共演。

大学卒業と同時に新星日本交響楽団に入団。その後2001年より東京フィルハーモニー交響楽団団員。白鷺在住。

多田 直子(ピアノ)

武蔵野音楽大学卒業。同大学新人演奏会に出演。NHK 衛星放送テレビ番組、FM放送等に出演。「チャイコフスキー国際音楽コンクール(青少年部門)」で公式伴奏者を務め、優勝者と受賞記念コンサートで協演。「ピアノ連弾名曲全集CD」(クラウンレコード)、「NHK 名曲アルバム 楽聖たちへの旅 DVD」(パナソニック)が全国発売されている。NHK 交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団等で鍵盤楽器奏者を務める。新星日本交響楽団(現、東京フィルハーモニー交響楽団)とはピアノ協奏曲を度々協演している。2000年ドイツに渡り、ハンブルグ音楽院を最優秀で卒業。ハンブルグ国立歌劇場管弦楽団とソリストとして協演。ドイツを中心にヨーロッパ各地で演奏活動をし、北ドイツ放送に出演。ヨハネス・ブラームス音楽院のピアノ科、伴奏科の講師を勤め、2007年同音楽院ホールでソロリサイタルを開催する。2007年末、帰国。武蔵野音楽大学附属高等学校、武蔵野音楽大学附属音楽教室の講師。

Program

★三重奏

モーツァルト/「ケーゲルシュタット・トリオ」(クラリネット、ヴィオラ、ピアノのための三重奏曲 変ホ長調 K.498)

モーツァルト(1756~1791)はオーストリアの作曲家、演奏家。この一風変わった編成の曲は、友人のクラリネット奏者ら仲間うちで演奏するために作曲されたからだと言われています。クラリネットに隠れがちですが、ヴィオラパートも魅力的です。曲の名前は、ケーゲルシュタット(ボーリングの前身)に興じながら作曲されたためである、と言われています。

★楽器紹介

クラリネット シュライナー/「だんだん小さく」

ヴィオラ 成田為三/「浜辺の歌」

ピアノ お楽しみに!

.....休憩.....

★ソロ演奏

クラリネット

アーノルド/「ソナチネ」

クラリネットのためのソナチネです。チェルトナム音楽祭で第1交響曲が初演され、アーノルド(1921~)の名が知れ渡った1951年の作品です。ジャズからの影響が見られます。

ヴィオラ

エルガー/「愛の挨拶」

エルガー(1857~1934)は、行進曲「威風堂々」でも知られるイギリスの作曲家です。この曲に、妻キャロラインに対しての愛と感謝の気持ちを込め、愛する人への贈り物としました。

クライスラー/「愛の悲しみ」

クライスラー(1875~1962)はオーストリア生まれ(後にアメリカ国籍)の世界的ヴァイオリニストです。この曲は「愛の喜び」と一対になっています。「愛の喜び」が長調で快活に喜びを表現しているのに対して、短調で悲しげな気分を描いています。シンプルながら微妙な特徴のある曲です。

ピアノ

ドビュッシー/「月の光」

この曲はドビュッシー(1862~1913、フランス)の中でもおそらくもっとも有名な曲です。「ベルガマスク組曲」の第3曲目にあたります。曲の完成度の高さ、美しさはさることながら、一瞬たりとも違和感を与えずに情感豊かに仕上がっています。

★三重奏

ブルッフ/「三重奏曲」より 1, 4, 3, 7, 6曲

ブルッフ(1838~1920)は、ヴァイオリン協奏曲で知られるドイツの作曲家です。作曲に早くから才能を示しました。ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調が、ロマン派の協奏曲として特に有名でよく演奏されます。他にもヴァイオリンと管弦楽のための『スコットランド幻想曲』や、チェロと管弦楽のための『コル・ニドライ』がしばしば演奏されます。